

2024年6月27日

松井塾生 各位

受験 松井塾

2024年度 第2回松井塾オリジナル『読書検定』実施のお知らせ

語彙は考える力の源です。読書は何かを気づかせてくれます。読書はまた考えるきっかけになります。物語は、私たちを未知の世界へ導き、新しい経験をさせてくれます。新書や新聞は、みなさんがこれまでわからなかったことや、確信できなかったことに「こういうことだったんだ！」と謎を解くカギになります。

2024年度第2回読書検定 ～実施要項～

●**検定日**：8月19日(月)・26日(月)

夏期講習授業時間内に実施（試験日は担任が伝達します）

●**検定本**

- ・『ももこのいきもの図鑑』 さくらももこ
- ・『羊と鋼の森』 宮下奈都
- ・『増えるものたちの進化生物学』 市橋伯一^{のりかず}

まだ読書に慣れていない小学生には「ももこのいきもの図鑑」をおすすめします。読書習慣のある生徒は、「羊と鋼の森」を読みましょう。本屋大賞を受賞し、映画化もされた作品です。

「増えるものたちの…」は読みやすく、考えるきっかけを与えてくれるジュニア新書です。小6生の受験クラス、推薦入試を考えている中3生のみなさんにとっては、受験にもつながる一冊です。

合格者にはポイント贈呈！

検定合格：20pt

満点合格：30pt

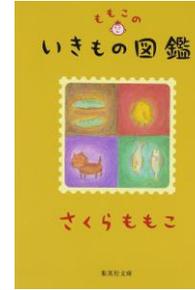
合格率トップクラス：全員に

10pt

出題内容

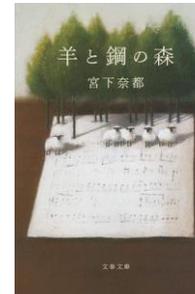
本の内容についての基本的な問題が出題されます。国語の読解問題のような出題はありません。作者名や登場人物について、作品の舞台、人物の関係や話の大まかな流れを覚えながら読み進めるとよいでしょう。あなたが感動した、心に残った文章・言葉はノートにメモをして覚えておきましょう。

さくらももこ 『ももこのいきもの図鑑』(集英社文庫) 616円



大人気アニメ「ちびまるこちゃん」の原作者である、さくらももこさん。子どもの頃から生き物に興味をもち、大人になってもカメや小鳥や魚を飼っています。これまでに出会ったいろんな生き物たちとの思い出をゆかいに描いた短編集です。のんきな父ヒロシを始め、おなじみの「ちびまるこ」一家も次々に出てきて、大笑いすること間違いなしの作品です。これまであまり本を読んでなくても「読書っておもしろい！」と思えるはずです。

宮下奈都 『羊と鋼の森』(文春文庫) 748円



2016年に本屋大賞を受賞した作品です。高校生の時、偶然ピアノ調律師の板鳥と出会って以来、調律の世界に魅せられた外村。ピアノを愛する姉妹や先輩、恩師との交流を通じて、成長していく青年の姿を、温かく静かに描く感動作。

「才能があるから生きていくんじゃない。そんなもの、あったって、なくなっても生きていくんだ。あるのかわからないのかわからない、そんなものにふりまわされるのはごめんだ。もっと確かなものを、この手で探り当てていくしかない。(本文より)」
ピアノの調律という仕事を通して、人生で大切なことを学んでいく主人公から、多くのことを感じるはずです。

宮下さんの作品は、「よるこびの歌」を読書検定にしたこともあります。

市橋伯一 『増えるものたちの進化生物学』(ちくまフリマー新書) 880円



夏休みはいつもとは異なるジャンルの本を読んでみては？こちらは今年の春の中学入試の問題で最も多くの学校が取り上げた作品です。

- 第1章 なぜ生きているのか
- 第2章 なぜ死にたくないのか
- 第3章 なぜ他人が気になるのか
- 第4章 なぜ性があるのか
- 第5章 何のために生まれてきたのか

生命と非生命をわけるもの、それは「増える」ことである。増えて遺伝する能力は生物を進化させ、繁栄をもたらし、やがて私たち人間に自由と生きる喜びを与え、とともに尽きることのない不安や迷いを植え付けることとなった。生きることの悩みから生命の起源と未来を見つける。

※注意※

課題図書は塾では販売しません。各自で購入するか、図書館・図書室で借りて読んで下さい。未来屋書店(板橋イオン4F)で購入する場合は、6月28日(金)より松井塾コーナーに並びます。